

こども相談支援センター
ゆいまわる



こども相談支援センターゆいまわる

YUIMAWARU株式会社

代表取締役 仲間知穂

[住所] 〒904-1106 沖縄県うるま市石川828番地6

[電話] 098-923-3276 [Mail] info@yuimawaru.com

[書籍] 学校に作業療法を-届けたい教育でつなぐ学校・家庭・地域,
(クリエイツかもがわ,2019)



こども相談支援センター ゆいまわる

ゆいまわるのコンセプト

ゆいまわるの学校訪問支援は、保育所等訪問支援事業（児童福祉法）を活用した作業療法士による保育園、幼稚園、小学校など集団生活への訪問支援です。ゆいまわるでは学校訪問を専門とした作業療法士が、学校と家庭の間に入り、**保護者が願う生活、先生が届けたい教育、子どもが望むこと、みんなの”やりたい”から目標を設定し、家庭と学校が協働的にお子さんの成長を支えていける関係をつくりまわります。**家庭と学校それぞれの立場の違いを活かし、チームアプローチに主体的に参加できることを支えます。



□ 問題ではなく「みんなのやりたい」からはじまる取り組み

ゆいまわるでは、「友達と楽しく遊んで欲しい!」「行ってきます!笑顔で学校に行って欲しい」など**保護者がその子に願う生活**と、「友達と協力して給食当番して欲しい!」「勉強が楽しいと思って授業に参加して欲しい」など**先生がその子に届けたい教育**、そして「友達と遊びたい!」「先生にすごいって言われたい!」など**その子自身が望むこと**などみんなの「やりたい」を出し合うことから始まります。

□ 目標の実現に向けた”学校でできる”を叶えるための評価

目標である「届けたい保育・教育」をその子が参加する教室で、先生や友達と一緒にできる方法を知るために、教室での授業の様子や、休み時間の友達との交流の様子を観察します。

□ できるをデザインするチームづくり

届けたい教育をその子の力を最大限活かし、学校でみんなと一緒にできるためにどうしたらいいのか? 評価でわかった情報提供をもとに、先生、保護者みんなで叶えるための会議を行います。

□ コンセプトを支える作業療法

ゆいまわるでは全て専門の作業療法士が学校訪問を行なっています。作業療法士は、**人の考える力（認知機能）、動く力（運動機能）、感じる力（精神機能）**を分析し、その人の生活環境で、期待する活動（勉強や友達との交流など）をうまく行えるためにどうしたらできるのかを分析する専門家です。だからこそ、家庭と学校がその子にクラス（環境）でどうしたら「届けたい教育」ができるのか考えていくための情報提供ができるのです。

これまでの実績

ゆいまわりの訪問状況

12市町村



訪問校総数

64校

担当児童総数

131名

卒業児童数

70名

平均卒業期間9ヶ月

(平成28年4月～平成30年12月)

□ 平成28年～平成30年の実績

12市町村, 64校に訪問を実施。

総担当児童数131名。

そのうち70名がゆいまわるを卒業。

平均担当期間は9ヶ月。

ゆいまわるの卒業とは

お子さんが学校と家庭の連携の中で安心して成長していけると、保護者と先生が判断し**卒業**となります。

□ H31年度の実績（4月～7月末現在）

担当児童数：95名。卒業児童数：18名。

訪問学校数：39校

訪問市町村：10市町村（浦添市・南城市の児童は卒業。総市町村数14市町村）。

<担当児童の内訳>

今年度からの新規児童数は34名。

卒業後の再開児童数は2名。

小学生：48名／保育園・幼稚園生：22名
／中学生：7名

訪問以外の実績

□ 地域子ども支援インクルーシブ教育推進人材育成プログラム：「沖縄産学官協働人材育成円卓会議」の事業として地域で子どもを支えられる専門家の育成講座を実施（平成30年9月～3年間,琉球大学）

□ 教員・保育士・行政・支援者向け研修：初任者研修／特別支援教育コーディネーター研修／校内研修等（平成30年度：30回）

□ 厚生労働省・文部科学省への取り組みの説明：平成30年7月24日厚生労働省高木美智代副大臣，厚生労働省障がい福祉課，文部科学省特別支援教育課へ取り組みを説明



□ 南風原町親子通所支援ゆうな園：南風原町の保育園への巡回相談。ゆうな園での作業療法士の子育て相談。（平成29年～現在）